

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年3月14日設定）	
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。	

## 運用報告書（全体版）

三菱UFJ  
豪ドル債券インカムオープン

愛称：夢実月

第246期（決算日：2023年10月10日）

第247期（決算日：2023年11月8日）

第248期（決算日：2023年12月8日）

第249期（決算日：2024年1月9日）

第250期（決算日：2024年2月8日）

第251期（決算日：2024年3月8日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン」は、去る3月8日に第251期の決算を行いましたので、法令に基づいて第246期～第251期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 先 物 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
222期(2021年10月8日)	4,165		20		△0.2	97.1	57,630
223期(2021年11月8日)	4,196		20		1.2	98.4	56,777
224期(2021年12月8日)	4,015		20		△3.8	97.1	53,531
225期(2022年1月11日)	4,089		20		2.3	97.7	53,884
226期(2022年2月8日)	4,003		20		△1.6	97.6	52,229
227期(2022年3月8日)	4,082		20		2.5	97.0	52,900
228期(2022年4月8日)	4,335		20		6.7	97.0	54,575
229期(2022年5月9日)	4,215		20		△2.3	98.3	51,792
230期(2022年6月8日)	4,376		20		4.3	97.1	53,442
231期(2022年7月8日)	4,261		20		△2.2	97.2	51,261
232期(2022年8月8日)	4,282		20		1.0	97.1	51,151
233期(2022年9月8日)	4,384		20		2.8	97.2	51,929
234期(2022年10月11日)	4,107		20		△5.9	96.7	47,984
235期(2022年11月8日)	4,228		20		3.4	96.8	49,081
236期(2022年12月8日)	4,106		20		△2.4	97.5	47,548
237期(2023年1月10日)	4,039		20		△1.1	97.3	46,585
238期(2023年2月8日)	4,046		20		0.7	97.4	46,358
239期(2023年3月8日)	3,989		20		△0.9	97.3	45,463
240期(2023年4月10日)	3,941		20		△0.7	97.1	44,711
241期(2023年5月8日)	4,039		20		3.0	96.7	45,757
242期(2023年6月8日)	4,045		20		0.6	97.9	45,566
243期(2023年7月10日)	4,063		10		0.7	97.3	45,204
244期(2023年8月8日)	4,064		10		0.3	97.1	44,634
245期(2023年9月8日)	4,046		10		△0.2	97.0	43,795
246期(2023年10月10日)	4,096		10		1.5	96.7	43,555
247期(2023年11月8日)	4,124		10		0.9	98.1	43,297
248期(2023年12月8日)	4,067		10		△1.1	97.5	41,781
249期(2024年1月9日)	4,173		10		2.9	96.6	41,822
250期(2024年2月8日)	4,186		10		0.6	97.7	41,127
251期(2024年3月8日)	4,242		10		1.6	97.7	41,073

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第246期	(期 首) 2023年9月8日	4,046	—	—	97.0	—	—
	9月末	4,121	1.9	—	96.8	—	—
	(期 末) 2023年10月10日	4,106	1.5	—	96.7	—	—
第247期	(期 首) 2023年10月10日	4,096	—	—	96.7	—	—
	10月末	4,050	△1.1	—	97.5	—	—
	(期 末) 2023年11月8日	4,134	0.9	—	98.1	—	—
第248期	(期 首) 2023年11月8日	4,124	—	—	98.1	—	—
	11月末	4,184	1.5	—	97.9	—	—
	(期 末) 2023年12月8日	4,077	△1.1	—	97.5	—	—
第249期	(期 首) 2023年12月8日	4,067	—	—	97.5	—	—
	12月末	4,216	3.7	—	96.2	—	—
	(期 末) 2024年1月9日	4,183	2.9	—	96.6	—	—
第250期	(期 首) 2024年1月9日	4,173	—	—	96.6	—	—
	1月末	4,206	0.8	—	97.7	—	—
	(期 末) 2024年2月8日	4,196	0.6	—	97.7	—	—
第251期	(期 首) 2024年2月8日	4,186	—	—	97.7	—	—
	2月末	4,235	1.2	—	97.8	—	—
	(期 末) 2024年3月8日	4,252	1.6	—	97.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

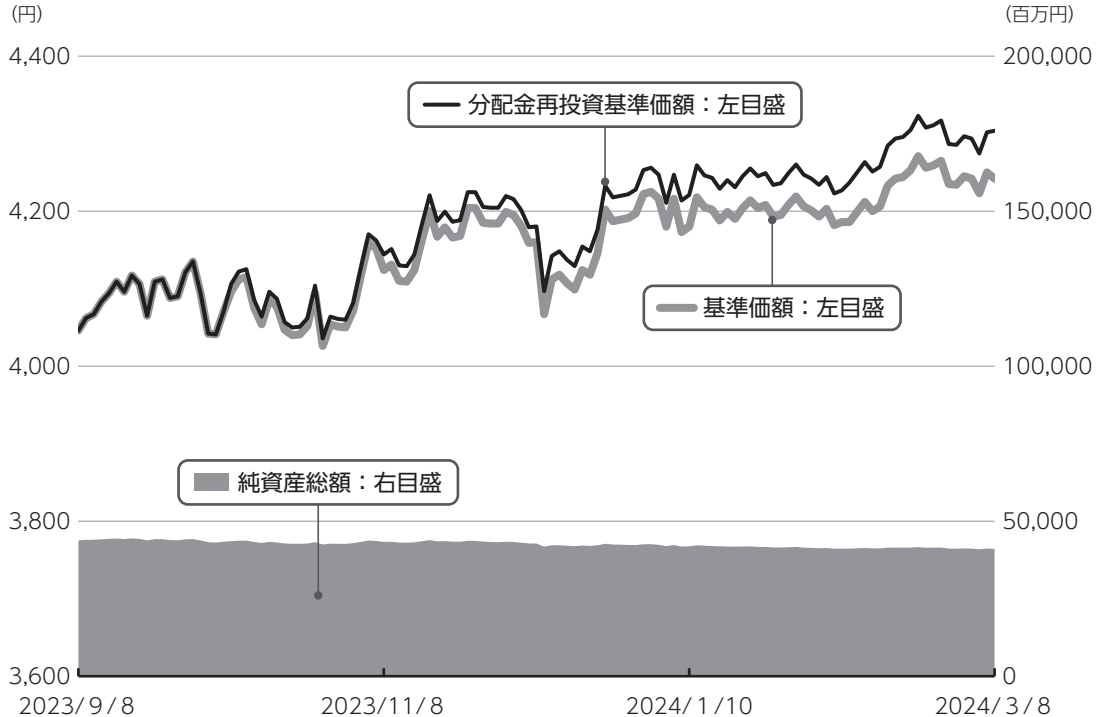
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第246期～第251期：2023年9月9日～2024年3月8日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第246期首	4,046円
第251期末	4,242円
既払分配金	60円
騰落率	6.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## > 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

豪州金利が低下したことや、債券利子収益を享受したこと、豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第246期～第251期：2023年9月9日～2024年3月8日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**豪州金利は、低下しました。**

期間の初めに、豪州の消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことで、豪州準備銀行（RBA）による追加利上げの観測が高まり、豪州金利は上昇した局面もありましたが、その後は、発表された経済指標が概ね景気減速を示唆する内容であったことを受けて、利上げサイクルが終了したとの観測が高まったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）

を経て、米国において2024年の利下げ織り込みが進んだことを背景に、グローバルに金利が低下したことを受けて豪州金利は低下しました。

### ▶ 為替市況

**豪ドルは対円で上昇しました。**

主要先進国の株価が堅調に推移するなど、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、豪ドルは、対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

### ▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

#### **デュレーション（平均回収期間や金利感応度）**

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.8年程度と

なっています。

#### **残存期間構成**

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

#### **債券種別構成**

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き上げ、非国債の組入比率を引き下げました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第246期 2023年9月9日~ 2023年10月10日	第247期 2023年10月11日~ 2023年11月8日	第248期 2023年11月9日~ 2023年12月8日	第249期 2023年12月9日~ 2024年1月9日	第250期 2024年1月10日~ 2024年2月8日	第251期 2024年2月9日~ 2024年3月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>10</b> (0.244%)	<b>10</b> (0.242%)	<b>10</b> (0.245%)	<b>10</b> (0.239%)	<b>10</b> (0.238%)	<b>10</b> (0.235%)
当期の収益	10	10	7	10	9	10
当期の収益以外	-	-	2	-	0	-
翌期繰越分配対象額	351	351	349	350	349	350

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

### ▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド 組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

### デュレーション

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

### 残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

### 債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。



2023年9月9日～2024年3月8日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第246期～第251期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.576	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.267)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.281)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.007	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	24	0.583	

作成期中の平均基準価額は、4,156円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

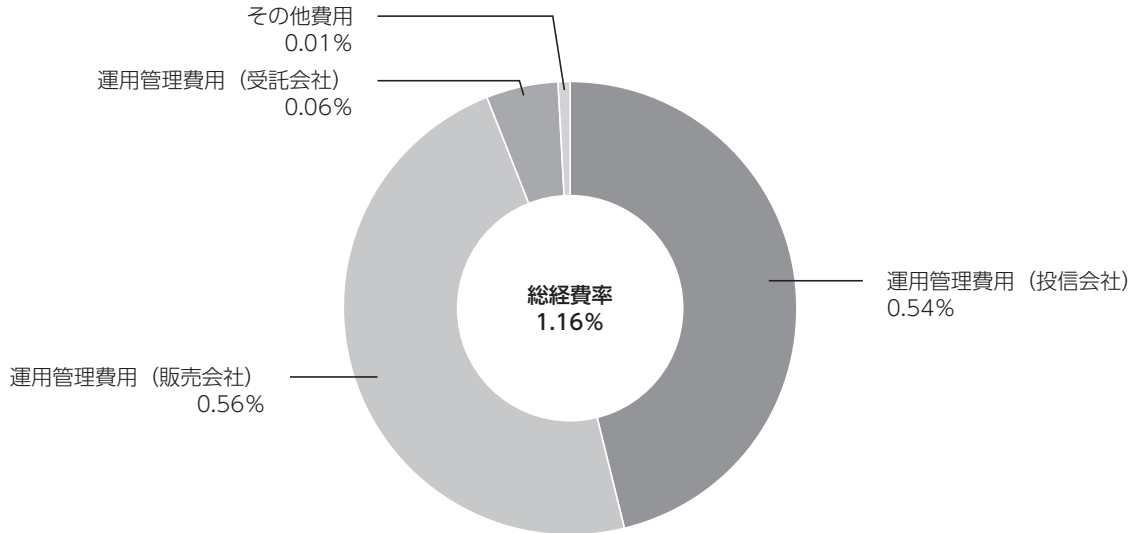
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年9月9日～2024年3月8日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第246期～第251期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
豪ドル債券インカムマザーファンド	千口 3,067	千円 4,044	千口 4,327,322	千円 5,599,081

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月9日～2024年3月8日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン&gt;

該当事項はございません。

## &lt;豪ドル債券インカムマザーファンド&gt;

区分	第246期～第251期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 5,685	百万円 2,574	% 45.3

平均保有割合 96.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2024年3月8日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第245期末	第251期末	
	口数	口数	評価額
豪ドル債券インカムマザーファンド	千口 34,986,963	千口 30,662,709	千円 40,974,578

## ○投資信託財産の構成

(2024年3月8日現在)

項 目	第251期末	
	評 価 額	比 率
豪ドル債券インカムマザーファンド	千円 40,974,578	% 99.3
コール・ローン等、その他	289,641	0.7
投資信託財産総額	41,264,219	100.0

(注) 豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (42,450,418千円) の投資信託財産総額 (42,689,561千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=97.99円			
--------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第246期末	第247期末	第248期末	第249期末	第250期末	第251期末
	2023年10月10日現在	2023年11月8日現在	2023年12月8日現在	2024年1月9日現在	2024年2月8日現在	2024年3月8日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	43,834,302,052	43,540,286,084	42,021,773,644	42,030,134,628	41,310,980,831	41,264,219,284
コール・ローン等	146,595,720	145,704,245	145,194,226	136,432,127	136,858,852	136,933,326
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	43,456,138,404	43,191,240,264	41,677,771,650	41,725,640,158	41,027,537,055	40,974,578,887
未収入金	231,567,928	203,341,575	198,807,768	168,062,343	146,584,924	152,707,071
(B) 負債	278,527,504	242,918,728	240,208,956	207,334,135	183,611,917	190,456,974
未払収益分配金	106,343,094	104,983,289	102,728,535	100,233,364	98,244,311	96,823,287
未払解約金	127,509,604	98,228,452	96,161,272	64,139,011	45,653,601	55,548,514
未払信託報酬	44,496,683	39,548,757	41,154,504	42,790,544	39,555,785	37,933,407
未払利息	143	44	36	61	8	41
その他未払費用	177,980	158,186	164,609	171,155	158,212	151,725
(C) 純資産総額(A-B)	43,555,774,548	43,297,367,356	41,781,564,688	41,822,800,493	41,127,368,914	41,073,762,310
元本	106,343,094,026	104,983,289,503	102,728,535,412	100,233,364,030	98,244,311,836	96,823,287,916
次期繰越損益金	△ 62,787,319,478	△ 61,685,922,147	△ 60,946,970,724	△ 58,410,563,537	△ 57,116,942,922	△ 55,749,525,606
(D) 受益権総口数	106,343,094,026口	104,983,289,503口	102,728,535,412口	100,233,364,030口	98,244,311,836口	96,823,287,916口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,096円	4,124円	4,067円	4,173円	4,186円	4,242円

## ○損益の状況

項 目	第246期	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期
	2023年9月9日～ 2023年10月10日	2023年10月11日～ 2023年11月8日	2023年11月9日～ 2023年12月8日	2023年12月9日～ 2024年1月9日	2024年1月10日～ 2024年2月8日	2024年2月9日～ 2024年3月8日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 5,274	△ 1,506	△ 1,644	△ 1,916	△ 898	△ 414
受取利息	414	25	42	—	58	—
支払利息	△ 5,688	△ 1,531	△ 1,686	△ 1,916	△ 956	△ 414
(B) 有価証券売買損益	681,840,898	442,991,053	△ 442,543,009	1,198,158,162	272,055,102	675,567,577
売買益	688,772,226	448,049,093	11,731,692	1,223,684,839	277,841,070	683,042,174
売買損	△ 6,931,328	△ 5,058,040	△ 454,274,701	△ 25,526,677	△ 5,785,968	△ 7,474,597
(C) 信託報酬等	△ 44,674,663	△ 39,706,943	△ 41,319,113	△ 42,961,699	△ 39,713,997	△ 38,085,132
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	637,160,961	403,282,104	△ 483,863,766	1,155,194,547	232,340,207	637,482,031
(E) 前期繰越損益	△ 9,055,335,072	△ 8,401,154,509	△ 7,909,623,372	△ 8,262,806,635	△ 7,050,027,142	△ 6,802,319,649
(F) 追加信託差損益金	△54,262,802,273	△53,583,066,953	△52,450,755,051	△51,202,718,085	△50,201,011,676	△49,487,864,701
(配当等相当額)	( 3,723,398,834)	( 3,675,941,907)	( 3,597,150,368)	( 3,500,619,133)	( 3,431,340,654)	( 3,381,843,327)
(売買損益相当額)	(△57,986,201,107)	(△57,259,008,860)	(△56,047,905,419)	(△54,703,337,218)	(△53,632,352,330)	(△52,869,708,028)
(G) 計 (D+E+F)	△62,680,976,384	△61,580,938,858	△60,844,242,189	△58,310,330,173	△57,018,698,611	△55,652,702,319
(H) 収益分配金	△ 106,343,094	△ 104,983,289	△ 102,728,535	△ 100,233,364	△ 98,244,311	△ 96,823,287
次期繰越損益金 (G+H)	△62,787,319,478	△61,685,922,147	△60,946,970,724	△58,410,563,537	△57,116,942,922	△55,749,525,606
追加信託差損益金	△54,262,802,273	△53,583,066,953	△52,460,334,836	△51,202,718,085	△50,201,011,676	△49,487,864,701
(配当等相当額)	( 3,723,527,315)	( 3,676,061,380)	( 3,587,759,732)	( 3,500,783,675)	( 3,431,463,300)	( 3,381,980,457)
(売買損益相当額)	(△57,986,329,588)	(△57,259,128,333)	(△56,048,094,568)	(△54,703,501,760)	(△53,632,474,976)	(△52,869,845,158)
分配準備積立金	15,945,655	16,970,121	—	13,527,667	6,736,162	8,872,451
繰越損益金	△ 8,540,462,860	△ 8,119,825,315	△ 8,486,635,888	△ 7,221,373,119	△ 6,922,667,408	△ 6,270,533,356

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首（前作成期末）元本額 108,248,372,619円  
 作成期中追加設定元本額 1,218,842,754円  
 作成期中一部解約元本額 12,643,927,457円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4242円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は55,749,525,606円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2023年9月9日～ 2023年10月10日	2023年10月11日～ 2023年11月8日	2023年11月9日～ 2023年12月8日	2023年12月9日～ 2024年1月9日	2024年1月10日～ 2024年2月8日	2024年2月9日～ 2024年3月8日
費用控除後の配当等収益額	122,288,749円	105,818,744円	76,403,992円	113,761,031円	91,715,155円	99,055,314円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	3,723,527,315円	3,676,061,380円	3,597,339,517円	3,500,783,675円	3,431,463,300円	3,381,980,457円
分配準備積立金額	—円	16,134,666円	16,744,758円	—円	13,265,318円	6,640,424円
当ファンドの分配対象収益額	3,845,816,064円	3,798,014,790円	3,690,488,267円	3,614,544,706円	3,536,443,773円	3,487,676,195円
1万口当たり収益分配対象額	361円	361円	359円	360円	359円	360円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	106,343,094円	104,983,289円	102,728,535円	100,233,364円	98,244,311円	96,823,287円

## ○分配金のお知らせ

	第246期	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期
1 万口当たり分配金 (税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お 知 ら せ】

- ①委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)
- ②信託財産留保額を引き下げるため、信託財産留保額を変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2023年12月8日)

# 豪ドル債券インカムマザーファンド

## 《第11期》決算日2024年3月8日

[計算期間：2023年3月9日～2024年3月8日]

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、3月8日に第11期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、AA一格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のAA一格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを1年以上5年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中落率			
7期(2020年3月9日)	円 9,228		% △ 9.4	% 97.9	% —	百万円 76,855
8期(2021年3月8日)	11,558		25.2	96.5	△1.6	73,999
9期(2022年3月8日)	11,433		△ 1.1	97.2	△4.5	54,848
10期(2023年3月8日)	11,967		4.7	97.6	—	47,100
11期(2024年3月8日)	13,363		11.7	98.0	—	42,536

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)		円		%		%	%
	2023年	3月8日	11,967		—			97.6
	3月末		12,008		0.3			96.8
	4月末		11,946	△	0.2			96.7
	5月末		12,134		1.4			97.6
	6月末		12,647		5.7			97.0
	7月末		12,440		4.0			96.8
	8月末		12,620		5.5			96.8
	9月末		12,727		6.4			97.1
	10月末		12,551		4.9			97.7
	11月末		13,013		8.7			98.2
	12月末		13,155		9.9			96.4
	2024年	1月末	13,170		10.1			97.9
	2月末		13,304		11.2			98.0
	(期 末)							
	2024年	3月8日	13,363		11.7			98.0

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.7%の上昇となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

## (上昇要因)

債券利子収益を享受したことや、豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・豪州金利は上昇しました。
- ・インフレの高止まりを背景に、豪州準備銀行 (RBA) が複数回利上げを実施したことなどが豪州金利の上昇要因となりました。



## ◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
- ・RBAが政策金利を当面高水準で維持する姿勢を示したことなどから、本邦との金融政策の格差が意識され、豪ドルは、対円で上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

## ◎組入比率

- ・期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

## ◎デュレーション

- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.8年程度となっています。

## ◎残存期間構成

- ・イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

## ◎債券種別構成

- ・豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き下げ、州政府債などの非国債の組入比率を引き上げました。

## ◎今後の運用方針

## （組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

## （デュレーション）

- ・豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

## （残存期間構成）

- ・デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

## （債券種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年3月9日～2024年3月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 (1) (0)	0.009 (0.009) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.009	
期中の平均基準価額は、12,614円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年3月9日～2024年3月8日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		国債証券	288,237	339,561
		特殊債券	161,613	181,781 ( 9,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 679	百万円 663	百万円 2,044	百万円 2,011

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年3月9日～2024年3月8日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	—	—	—	9,620	4,858	50.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2024年3月8日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	437,000	425,274	41,672,613	98.0	—	1.5	73.1	23.3
合 計	437,000	425,274	41,672,613	98.0	—	1.5	73.1	23.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
国債証券	0.5 AUST GOVT 260921	0.5	10,000	9,249	906,333	2026/9/21
	1.75 AUST GOVT 321121	1.75	2,000	1,675	164,165	2032/11/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	28,000	26,486	2,595,449	2028/5/21
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	45,000	43,626	4,274,995	2027/11/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	38,000	36,507	3,577,349	2028/11/21
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	37,000	36,727	3,598,889	2025/4/21
	3.75 AUST GOVT 340521	3.75	2,000	1,955	191,624	2034/5/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	25,000	25,289	2,478,097	2026/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	5,000	5,162	505,898	2027/4/21
	特殊債券	0.5 VICTORIA 251120	0.5	5,000	4,706	461,146
1.25 VICTORIA 271119		1.25	30,000	27,145	2,659,999	2027/11/19
1.7 EIB 241115		1.7	5,000	4,909	481,125	2024/11/15

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	特殊債券					
	3 NEWSWALES 280320	3.0	20,000	19,260	1,887,354	2028/3/20
	3 SOUTH AUST GOVT 260720	3.0	15,000	14,671	1,437,677	2026/7/20
	3 VICTORIA 281020	3.0	15,000	14,295	1,400,792	2028/10/20
	3 WEST AUST TREAS 261021	3.0	10,000	9,764	956,812	2026/10/21
	3.1 IADB 280222	3.1	5,000	4,789	469,355	2028/2/22
	3.2 KFW 260911	3.2	3,000	2,929	287,064	2026/9/11
	3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	29,000	28,530	2,795,738	2026/7/21
	3.3 ASIAN DEV 280808	3.3	10,000	9,609	941,590	2028/8/8
	3.45 NEDER WATERS 280717	3.45	10,000	9,634	944,094	2028/7/17
	3.5 QUEENSLAND 300821	3.5	3,000	2,881	282,402	2030/8/21
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	15,000	14,944	1,464,452	2025/4/3
	4.2 EIB 280821	4.2	5,000	4,990	489,019	2028/8/21
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	9,999	979,851	2025/6/24
	4.25 LANDWIRTSCH 250109	4.25	20,000	19,969	1,956,857	2025/1/9
	4.3 KFW 270713	4.3	5,000	5,015	491,443	2027/7/13
	4.4 IBRD 280113	4.4	5,000	5,031	493,063	2028/1/13
	4.6 INTL FINAN 281019	4.6	5,000	5,064	496,311	2028/10/19
	4.75 QUEENSLAND 250721	4.75	10,000	10,080	987,820	2025/7/21
	5.5 VICTORIA 261117	5.5	10,000	10,366	1,015,834	2026/11/17
合 計					41,672,613	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2024年3月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	41,672,613	97.6
コール・ローン等、その他	1,016,948	2.4
投資信託財産総額	42,689,561	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(42,450,418千円)の投資信託財産総額(42,689,561千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=97.99円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	42,689,561,224	
コール・ローン等	341,388,306	
公社債(評価額)	41,672,613,481	
未収利息	302,333,835	
前払費用	62,881,163	
差入委託証拠金	310,344,439	
(B) 負債	153,031,351	
前受収益	155,804	
未払解約金	152,875,475	
未払利息	72	
(C) 純資産総額(A-B)	42,536,529,873	
元本	31,830,748,133	
次期繰越損益金	10,705,781,740	
(D) 受益権総口数	31,830,748,133口	
1万口当たり基準価額(C/D)	13,363円	

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 39,358,587,715円  
 期中追加設定元本額 216,127,342円  
 期中一部解約元本額 7,743,966,924円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3363円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン 30,662,709,637円  
 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型) 1,168,038,496円  
 合計 31,830,748,133円

## 【お知らせ】

- ①委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
 (2023年10月1日)
- ②新NISA(成長投資枠)の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2023年12月8日)
- ③信託財産留保額を引き下げたため、信託財産留保額を変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2023年12月8日)

## ○損益の状況 (2023年3月9日～2024年3月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,593,929,154	
受取利息	1,593,981,194	
支払利息	△ 52,040	
(B) 有価証券売買損益	3,404,762,076	
売買益	4,113,483,955	
売買損	△ 708,721,879	
(C) 先物取引等取引損益	4,267,514	
取引益	14,126,974	
取引損	△ 9,859,460	
(D) 保管費用等	△ 4,000,924	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	4,998,957,820	
(F) 前期繰越損益金	7,741,497,989	
(G) 追加信託差損益金	49,423,034	
(H) 解約差損益金	△ 2,084,097,103	
(I) 計(E+F+G+H)	10,705,781,740	
次期繰越損益金(I)	10,705,781,740	

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。